



2025年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年11月6日

上場会社名 荏原実業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6328 URL <https://www.ejk.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員兼COO (氏名) 石井 孝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 総合企画室長 (氏名) 大野 周司

TEL 03-5565-2885

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績(2025年1月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	29,256	10.0	4,308	42.1	4,464	40.6	3,037	39.7
2024年12月期第3四半期	26,600	2.0	3,031	1.7	3,175	3.3	2,174	2.1

(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 4,114百万円 (69.9%) 2024年12月期第3四半期 2,421百万円 (7.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	255.32	—
2024年12月期第3四半期	181.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第3四半期	43,271	26,219	60.6
2024年12月期	42,996	23,461	54.6

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 26,219百万円 2024年12月期 23,461百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	47.50	—	47.50	95.00
2025年12月期	—	60.00	—		
2025年12月期(予想)				60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2025年12月期(予想)年間配当金の内訳 普通配当100円 記念配当20円(創業80周年記念配当)

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年 1月 1日～2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	6.7	5,100	19.9	5,250	18.2	3,650	15.6	305.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、本日(2025年11月6日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年12月期3Q	12,930,000 株	2024年12月期	12,930,000 株
-------------	--------------	-----------	--------------

期末自己株式数

2025年12月期3Q	1,020,958 株	2024年12月期	1,007,954 株
-------------	-------------	-----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2025年12月期3Q	11,895,260 株	2024年12月期3Q	11,953,747 株
-------------	--------------	-------------	--------------

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)の計算において控除する自己株式数には、従業員持株会信託型ESOPの信託口が保有する当社株式を含めております。なお、当第3四半期連結会計期間末において当該信託口が保有する当社株式はありません。

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び想定できる経済情勢、市場動向などを前提として作成したものであり、今後の様々な要因により、予想と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料等の入手方法について)

決算補足説明資料は、TDnetで同日開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間（2025年1月1日から2025年9月30日まで）におけるわが国経済は、企業の設備投資を背景に緩やかな回復基調が続いたものの、物価上昇に伴う個人消費の伸び悩みや米国の通商政策による影響など、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社を取り巻く環境装置機械業界においては、公共分野では水インフラ設備の更新・整備需要や雨水排水施設などの防災・減災需要が堅調に推移し、民間分野では設備投資が安定的に推移しております。

このような事業環境のもと、当社グループは中期経営計画「EJ2027」において以下を基本方針とし、特に「防災・減災」、「蓄電池」、「水産」の3つを注力領域として、企業価値の向上を目指しております。

- ・ 既存事業の強化
- ・ 新領域の探索
- ・ 経営基盤の充実

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の受注高は293億53百万円（前年同期比3.0%減）、売上高は292億56百万円（前年同期比10.0%増）、営業利益は43億8百万円（前年同期比42.1%増）、経常利益は44億64百万円（前年同期比40.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は30億37百万円（前年同期比39.7%増）となりました。

セグメントごとの状況は、次のとおりであります。

メーカー事業

環境関連製品の製造・販売を手掛ける当セグメントにおいては、受注高は脱臭分野で前年に獲得した大型案件の反動減があったものの、計測分野で半導体産業向け需要の一部回復が見られたことに加え、水処理プラント分野で陸上養殖設備の需要が堅調に推移したことにより、セグメント全体では前年同期比1.5%増の55億58百万円となりました。売上高は水処理プラント及び脱臭の両分野が堅調に推移したことにより、前年同期比14.4%増の56億28百万円となりました。セグメント利益は、売上高の増加に伴い、前年同期比8.5%増の10億26百万円となりました。

エンジニアリング事業

上下水道向けの設計・施工を手掛ける当セグメントにおいては、公共水インフラ設備の更新・整備需要に加えて、雨水排水施設などの防災・減災需要が堅調に推移したものの、受注高は大型案件の期ずれの影響があり、前年同期比8.7%減の145億円となりました。一方、売上高は高水準の期首受注残高を背景とした順調な工事進捗により、前年同期比17.5%増の158億69百万円となりました。セグメント利益は、売上高の増加に伴い、前年同期比58.4%増の29億26百万円となりました。

商社事業

主にポンプ、冷凍機、空調機器などを商社として販売する当セグメントにおいては、受注高は民間分野の設備投資が安定的に推移したことに加え、国内工場の設備増強・更新需要が堅調に推移し、前年同期比4.3%増の92億94百万円となりました。一方、売上高は期首受注残高に長納期の案件が多かった影響により、前年同期比5.1%減の77億58百万円となりました。セグメント利益は、高利益率案件の売上が当第3四半期連結累計期間に集中したことにより、前年同期比13.1%増の12億76百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間の受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同期比(%)	受注残高(百万円)	前年同期比(%)
メーカー事業	5,558	101.5	4,674	100.2
エンジニアリング事業	14,500	91.3	21,807	91.1
商社事業	9,294	104.3	7,364	113.4
合計	29,353	97.0	33,846	96.5

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は432億71百万円となり、前連結会計年度末と比べ2億74百万円の増加となりました。売上債権の回収が進んだことに伴い、現金及び預金が3億60百万円増加したこと、受取手形、売掛金及び契約資産が16億14百万円減少したこと、また、保有株式の時価上昇等に伴い投資有価証券が16億46百万円増加したこと等が主な要因であります。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は170億51百万円となり、前連結会計年度末と比べ24億84百万円の減少となりました。仕入債務の支払が進んだことに伴い、支払手形及び買掛金が45億79百万円減少したこと、一方で、契約負債が12億84百万円増加したこと等が主な要因であります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は262億19百万円となり、前連結会計年度末と比べ27億58百万円の増加となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により30億37百万円増加したこと、保有株式の時価上昇に伴いその他有価証券評価差額金が10億79百万円増加したこと、一方で、剰余金の配当により12億80百万円減少したこと等が主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月10日付「2024年12月期決算短信」において公表いたしました2025年12月期の連結業績予想を修正しております。詳細は、本日（2025年11月6日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,862	15,223
受取手形、売掛金及び契約資産	13,910	12,296
商品及び製品	1,426	1,364
仕掛品	433	389
未成工事支出金	109	89
原材料及び貯蔵品	599	455
その他	676	621
貸倒引当金	△56	△56
流動資産合計	31,962	30,383
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,811	3,793
減価償却累計額	△2,228	△2,299
建物及び構築物（純額）	1,583	1,493
機械装置及び運搬具	212	186
減価償却累計額	△155	△147
機械装置及び運搬具（純額）	56	39
工具、器具及び備品	790	794
減価償却累計額	△669	△667
工具、器具及び備品（純額）	120	127
土地	1,356	1,526
建設仮勘定	14	37
その他	34	34
減価償却累計額	△10	△15
その他（純額）	23	18
有形固定資産合計	3,154	3,243
無形固定資産	90	86
投資その他の資産		
投資有価証券	6,437	8,084
保険積立金	482	523
投資不動産（純額）	634	622
繰延税金資産	29	57
その他	308	374
貸倒引当金	△103	△103
投資その他の資産合計	7,788	9,558
固定資産合計	11,034	12,888
資産合計	42,996	43,271

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,041	8,461
短期借入金	1,010	1,010
未払法人税等	696	897
未払消費税等	242	306
契約負債	1,326	2,611
賞与引当金	-	403
工事損失引当金	49	44
その他	1,139	917
流動負債合計	17,506	14,651
固定負債		
繰延税金負債	1,535	2,004
役員退職慰労引当金	158	146
退職給付に係る負債	173	115
その他	161	132
固定負債合計	2,029	2,399
負債合計	19,535	17,051
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,001	1,001
資本剰余金	896	934
利益剰余金	19,895	21,650
自己株式	△2,124	△2,235
株主資本合計	19,668	21,350
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,776	4,855
退職給付に係る調整累計額	15	13
その他の包括利益累計額合計	3,792	4,869
純資産合計	23,461	26,219
負債純資産合計	42,996	43,271

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	26,600	29,256
売上原価	18,091	19,384
売上総利益	8,508	9,872
販売費及び一般管理費	5,476	5,563
営業利益	3,031	4,308
営業外収益		
受取利息	0	2
受取配当金	90	103
投資不動産賃貸料	77	82
その他	18	24
営業外収益合計	186	212
営業外費用		
支払利息	5	8
不動産賃貸費用	32	34
為替差損	3	8
その他	1	5
営業外費用合計	42	56
経常利益	3,175	4,464
特別利益		
投資有価証券売却益	-	1
特別利益合計	-	1
特別損失		
固定資産処分損	0	61
特別損失合計	0	61
税金等調整前四半期純利益	3,175	4,404
法人税、住民税及び事業税	854	1,492
法人税等調整額	146	△125
法人税等合計	1,001	1,367
四半期純利益	2,174	3,037
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,174	3,037

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	2,174	3,037
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	251	1,079
退職給付に係る調整額	△4	△2
その他の包括利益合計	246	1,076
四半期包括利益	2,421	4,114
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,421	4,114
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当第3四半期連結累計期間において、当該会計方針の変更が四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更が前第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	メーカー事業	エンジニア リング事業	商社事業			
売上高						
官公庁	2,359	13,186	1,441	16,988	-	16,988
民間	2,561	318	6,732	9,612	-	9,612
顧客との契約から生じる収益	4,921	13,505	8,174	26,600	-	26,600
その他の収益	-	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	4,921	13,505	8,174	26,600	-	26,600
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	4,921	13,505	8,174	26,600	-	26,600
セグメント利益	946	1,847	1,128	3,922	△890	3,031

(注)1. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	メーカー事業	エンジニア リング事業	商社事業			
売上高						
官公庁	3,145	15,339	799	19,284	-	19,284
民間	2,482	530	6,958	9,971	-	9,971
顧客との契約から生じる収益	5,628	15,869	7,758	29,256	-	29,256
その他の収益	-	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	5,628	15,869	7,758	29,256	-	29,256
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	5,628	15,869	7,758	29,256	-	29,256
セグメント利益	1,026	2,926	1,276	5,229	△921	4,308

(注)1. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	188百万円	176百万円